



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

東

上場会社名 株式会社システムソフト 上場取引所
 コード番号 7527 URL https://www.systemsoft.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉尾 春樹
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)富田 保徳 (TEL)092-732-1515
 四半期報告書提出予定日 2019年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,890	6.4	△99	—	△124	—	△153	—
2018年9月期第3四半期	1,776	—	△97	—	△138	—	△169	—

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 △158百万円 (—%) 2018年9月期第3四半期 △171百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	△2.27	—
2018年9月期第3四半期	△2.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	7,064	6,317	89.2
2018年9月期	7,412	6,612	89.0

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 6,298百万円 2018年9月期 6,593百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等になっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	5.1	150	—	120	—	60	—	0.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年9月期3Q	67,974,560株	2018年9月期	67,974,560株
2019年9月期3Q	31,719株	2018年9月期	31,719株
2019年9月期3Q	67,942,841株	2018年9月期3Q	67,942,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年10月1日～2019年6月30日）におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資や個人消費が持ち直すなど緩やかな回復が続きました。一方、各国の政策動向や貿易摩擦の激化、中国経済の減速等海外環境の悪化懸念により、景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、IT需要の高まりにより、顧客のソフトウェア関連設備投資は堅調に推移し、プロジェクトマネージャー等の高度な人材をはじめとしたIT技術者全般の需要は依然として高く、慢性的な人材不足の状態が続いております。

このような環境の下、当社グループは、子会社 株式会社DigiIT(デジット)の事業開始による新たなグループ体制でのスタートを切り、RPAソリューション、デジタルトランスフォーメーション(DX、X DIGITAL)領域へと一層注力しております。また、積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成に取り組みながら、常駐型(SES:お客様先に常駐して業務を請け負うシステムエンジニアリングサービス)の案件の獲得と、システム開発分野全般のサービス価値向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して114百万円(6.4%)増加し1,890百万円、営業損失は99百万円(前年同期は営業損失97百万円)となりました。また、経常損失は124百万円(前年同期は経常損失138百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は153百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失169百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、一部プロジェクトにおいて新規案件の獲得が計画に対して届かなかったものの、不動産分野および生損保分野において受注が好調に進捗する等、売上は計画通り推移いたしました。また、常駐型案件への切り替え、原価の見直しおよび圧縮により、利益面を改善することができました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は前年同期に比して38百万円(2.7%)増加し1,477百万円、セグメント利益は23百万円(前年同期はセグメント損失73百万円)となりました。

② マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供、RPAソリューションの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、RPAソリューションが先行投資フェーズを終了し売上・利益とも順調に推移したほか、Webマーケティング領域のコンサルティングは案件規模縮小等により利益率が低下いたしました。

これらにより、マーケティング事業の売上高は前年同期に比して102百万円(31.3%)増加し431百万円、セグメント損失は49百万円(前年同期はセグメント利益25百万円)となりました。

③ その他事業

子会社 株式会社S 2 iはIoTに関連する商品やサービスの提供事業を、株式会社アライアンステクノロジーは当社の事業分野に関連した投資事業を、それぞれ行っております。

これらにより、その他事業の売上高は前年同期に比して8百万円(87.4%)減少し1百万円、セグメント損失は2百万円(前年同期はセグメント利益3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べ124百万円減少し、3,344百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少272百万円、受取手形及び売掛金の増加78百万円等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ223万円減少し、3,720百万円となりました。これは主に、償却によるのれんの減少127百万円、長期前払費用の減少92百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ347百万円減少し、7,064百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、325百万円となりました。これは主に、株主優待引当金の減少37百万円、未払法人税等の増加30百万円等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、421百万円となりました。これは主に、社債の減少40百万円、長期未払金の減少11百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、747百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ295百万円減少し、6,317百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少等によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期通期の業績予想につきましては、引き続き大型案件の受注を見込んでいることから、2018年11月5日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。変更を行うことを確定した場合は、すみやかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,074,562	1,802,284
受取手形及び売掛金	805,878	883,906
営業投資有価証券	468,430	460,683
仕掛品	33,810	87,853
その他	85,975	109,354
流動資産合計	3,468,658	3,344,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,411	14,661
その他(純額)	9,072	16,914
有形固定資産合計	23,484	31,576
無形固定資産		
のれん	2,471,068	2,343,781
その他	349,250	314,856
無形固定資産合計	2,820,319	2,658,638
投資その他の資産		
その他	1,100,909	1,030,407
貸倒引当金	△1,013	—
投資その他の資産合計	1,099,896	1,030,407
固定資産合計	3,943,699	3,720,622
資産合計	7,412,357	7,064,704
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,806	136,049
未払法人税等	340	30,390
株主優待引当金	37,382	—
その他	171,133	158,714
流動負債合計	325,662	325,154
固定負債		
社債	320,000	280,000
資産除去債務	2,356	2,378
その他	151,551	139,487
固定負債合計	473,907	421,866
負債合計	799,570	747,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,506,090	1,506,090
資本剰余金	4,262,292	4,262,292
利益剰余金	831,932	541,755
自己株式	△8,046	△8,046
株主資本合計	6,592,267	6,302,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	955	△3,561
為替換算調整勘定	137	△105
その他の包括利益累計額合計	1,092	△3,666
新株予約権	10,792	10,792
非支配株主持分	8,634	8,467
純資産合計	6,612,787	6,317,683
負債純資産合計	7,412,357	7,064,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,776,391	1,890,594
売上原価	1,499,223	1,539,082
売上総利益	277,168	351,511
販売費及び一般管理費	375,128	451,085
営業損失(△)	△97,960	△99,573
営業外収益		
受取利息	294	190
受取配当金	442	434
助成金収入	—	1,026
投資有価証券売却益	4,931	—
消費税差額	—	20,724
その他	258	350
営業外収益合計	5,926	22,726
営業外費用		
支払利息	759	681
支払手数料	13,156	14,590
為替差損	5,609	15,110
株主優待関連費用	24,631	14,077
その他	2,593	3,283
営業外費用合計	46,751	47,743
経常損失(△)	△138,785	△124,590
特別損失		
固定資産除却損	8,730	—
関係会社株式評価損	10,000	—
本社移転費用	9,568	—
特別損失合計	28,299	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△167,084	△124,590
法人税、住民税及び事業税	2,819	26,523
法人税等調整額	—	2,983
法人税等合計	2,819	29,507
四半期純損失(△)	△169,903	△154,097
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△213	△166
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△169,690	△153,930

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△169,903	△154,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,968	△4,516
為替換算調整勘定	498	△242
その他の包括利益合計	△1,469	△4,759
四半期包括利益	△171,373	△158,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,160	△158,689
非支配株主に係る四半期包括利益	△213	△166

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	システム ソリューション 事業	マーケティング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,437,566	328,623	1,766,189	10,202	1,776,391	-	1,776,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	952	-	952	-	952	△952	-
計	1,438,518	328,623	1,767,141	10,202	1,777,343	△952	1,776,391
セグメント利益又は 損失(△)	△73,933	25,061	△48,872	3,603	△45,269	△52,691	△97,960

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△52,691千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	システム ソリューション 事業	マーケティング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,477,048	412,258	1,889,307	1,286	1,890,594	-	1,890,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	19,208	19,208	-	19,208	△19,208	-
計	1,477,048	431,466	1,908,515	1,286	1,909,802	△19,208	1,890,594
セグメント利益又は 損失(△)	23,889	△49,941	△26,051	△2,612	△28,664	△70,909	△99,573

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△70,909千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他

該当事項はありません。